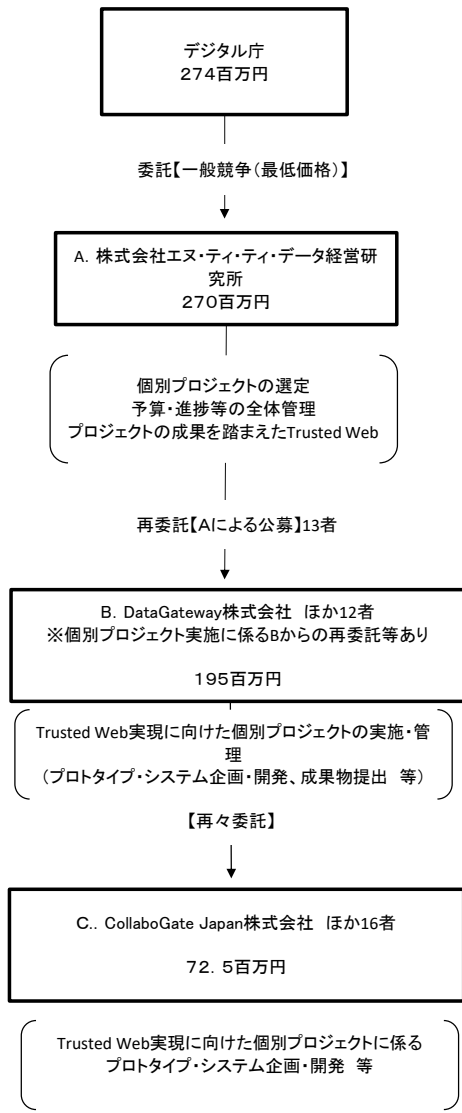


令和5年度行政事業レビューシート (デジタル庁)

事業名	Trusted Web共同開発支援事業費			担当部局庁	デジタル社会共通機能グループ	作成責任者		
事業開始年度	令和3年度	事業終了 (予定)年度	令和4年度	担当課室	トラスト班	参事官 刀禰正樹		
会計区分	一般会計							
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	デジタル庁設置法第4条第2項第7号			関係する 計画、通知等	<ul style="list-style-type: none"> ・経済財政運営と改革の基本方針2022(令和5年6月16日閣議決定) ・新しい資本主義のグランドデザイン及び実行計画2023改訂版(令和5年6月16日閣議決定) ・デジタル社会の実現に向けた重点計画(令和5年6月9日閣議決定) 			
政策	デジタル社会の形成に関する施策の推進			主要経費	その他の事項経費			
施策	-							
政策体系・評価書URL	https://www.digital.go.jp/policies/assessment/							
事業の目的 (5行程度以内)	様々な社会活動のデジタル化が進む一方、特定のプラットフォームによるデータの囲い込みや勝者総取りによる富の偏在、データの取扱いに対する不安が問題となる中、インターネットにおける新たな信頼の枠組みの構築(Trusted Web)に向けて、本事業を通じて、具体的に解決される課題を「見える化」するとともに、さまざまな産業分野におけるユースケースを創出し、Trusted Webの具現化及び国際標準化、ひいてはDFFT(信頼できる自由なデータ流通)の実現につなげる。							
現状・課題 (5行程度以内)	2020年6月のデジタル市場競争会議における「デジタル市場競争に係る中期展望レポート」の提言を受け、DFFTの具現化も視野に、2020年10月「Trusted Web推進協議会」が発足した。そこでの検討結果を踏まえ、2021年3月に、内外の様々な関係者と協力・連携していくため、「Trusted Webホワイトペーパーver1.0」がとりまとめられた。その後、事例の机上検討を踏まえてTrusted Webのアーキテクチャーを構成する機能の具体的な技術仕様等について検討し、2022年8月に「Trusted Webホワイトペーパー2.0」へ改訂し、Trusted Webの実現に向けた考え方や論点を発信しているが、そのメリットについて、ユーザーとなる企業等の理解を更に広げていくといった課題がある。							
事業概要 (5行程度以内)	インターネット上で、DFFTを確保する枠組みを構築すべく、特定のサービスに依存せず、個人・法人によるデータのコントロールを強化する仕組み、やり取りするデータや相手方を検証できる仕組みなどの新たな信頼の枠組みを付加することを目指す「Trusted Web」構想を、2030年(令和12年)頃にインターネット全体で実現していくために実証を行う。具体的には、DFFTの実現に向けて、データのやりとりをめぐり「信頼」の確保に関する現実の課題を有する企業と、解決ツールを提供できる企業との共同開発プロジェクトを公募し、そのプロトタイプ/システム開発を支援する。その際、Trusted Web の4つの機能(①Identifier(識別子)管理機能、②Trustable Communication機能、③Dynamic Consent機能、④Trace機能)のうち、少なくとも3つの機能に関する課題を有することを要件とする。							
事業概要URL	https://trustedweb.go.jp/							
実施方法	委託・請負							
補助率等	-							
予算額・ 執行額 (単位:百万円) (インプット)	予算の 状況	当初予算(A)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求	
		補正予算(B)	-	274	-	-	-	
		前年度から繰越し(C)	-	-	274	-	-	
		翌年度へ繰越し(D)	-	▲ 274	-	-	-	
		予備費等(E)	-	-	-	-	-	
		計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	-	-	274	-	-	
		執行額(G)	-	-	270	-	-	
		執行率(%) =(G)/(F)	-	-	98.5%	-	-	
		当初予算+補正予算に対する執行額の 割合(%) =(G)/[(A)+(B)]	-	-	-	-	-	
		歳出予算項・目	令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)			
		計(A)	-	-	-			

活動内容① (アクティビティ)	データのやりとりをめぐり「信頼」の確保に関する現実の課題を有する企業と、解決ツールを提供できる企業との共同開発プロジェクトを公募し、そのプロトタイプ/システム開発を支援する。								
↓									
活動目標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
	Trusted Web共同開発支援事業を通じて、10件程度の事業実施(開発費支援等)を支援する。	Trusted Web共同開発事業への支援実施事業数	活動実績	件	-	-	13	-	-
			当初見込み	件	-	-	10	-	-
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	支援したユースケースの開発実証において、その主たる要件として①ユーザ(自然人又は法人)自身が自らに関連するデータをコントロールできる、②検証(verify)できる領域を拡大することにより、Trustの向上を図ることができる、③データのやり取りにおける合意形成の仕組みがある、④合意の履行のトレースができることを設定し、それをシステムに実装することで、Trusted Web実現に向けた示唆や課題を抽出するため。							
成果目標及び成果実績 ①-1 (短期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 - 年度	
	Trusted Web共同開発支援事業を通じて創出されるユースケースを通じて、Trusted Webの主たる要件の具現化を図る。	プロトタイプ開発において実現される要件の数	成果実績	件	-	-	4	-	
			目標値	件	-	-	4	-	
達成度	%	-	-	100	-				
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	Trusted Webホワイトペーパーver2.0等								
↓	成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	Trusted Webのメリットや課題等を示すことで、デジタル上で情報のやりとりを行う人々が、この考え方に賛同するとともに、実装の具体例を情報発信することで、Trusted Webの実現を目指す。							
成果目標及び成果実績 ①-2 (中期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 - 年度	
	-	-	成果実績						
			目標値						
達成度	%	-	-	-	-				
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績									
↓	成果目標①-3の 設定理由 (長期アウトカム へのつながり)								
成果目標及び成果実績 ①-3 (長期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 - 年度	
	2030年頃にインターネットにおいてTrusted Webの目指すべき方向性に沿った実装が進む	-	成果実績						
			目標値						
達成度	%	-	-	-	-				
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	<p><Trusted Webの目指すべき方向性とは> Trusted Webは、「デジタル社会」における様々な社会活動に対応できる Trustの仕組みを作り、多様な主体による新しい価値の創出を実現することを目指す。Trusted Webが実現を目指すTrustの仕組みは、特定のサービスに過度に依存せず、</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ユーザ(自然人又は法人)自身が自らに関連するデータをコントロールすることを可能とし、 ○ データのやり取りにおける合意形成の仕組みを取り入れ、その合意の履行のトレースを可能としつつ、 ○ 検証(verify)できる領域を拡大することにより、Trustの向上を目指すものである。 <p>出典: Trusted Webホワイトペーパーver2.0</p>								
アウトカム設定について の説明	アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由								
	Trusted Webホワイトペーパーver2.0において、「2030年頃にインターネット全体での実装」を目指す旨が定められ、その具体化に向けた議論を進めているところであり、現時点で定量的な目標の設定が困難なため。								
	アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由								

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
 (単位: 百万円)



A.			B.		
費目	使 途	金額 (百万円)	費目	使 途	金額 (百万円)
役務費	全体管理、Trusted Webの課題の調査研究 等	270	役務費	個別プロジェクトの管理、報告書作成、開発、ヒアリング 等	20
計		270	計		20
C.			D.		
費目	使 途	金額 (百万円)	費目	使 途	金額 (百万円)
役務費	個別プロジェクトに係るプロトタイプ・システム企画・開発 等	12.3			
計		12.3	計		

費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載 チェック

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社エヌ・ティ・ティ・データ経営研究所	1010001143390	Trusted Web実現等に向けた調査研究業務	270	一般競争契約 (最低価格)	1	98.5%	-

B

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	DataGateway株式会社	5010901043653	AIによる公募で採択(以下同様)、分散型IDを活用した炭素排出量トレースシステムの開発等実証を実施	20	その他	-	-	-
2	株式会社ORPHE	7010401114770	臨床試験及び医療現場における信頼性及び応用可能性の高い情報流通システム開発	20	その他	-	-	-
3	一般社団法人情報サービス産業協会	8010005016669	法人税制と工業会証明書の開発実証	20	その他	-	-	-
4	株式会社 電通	5010401143788	中小法人・個人事業者を対象とする補助金・給付金の電子申請における「本人確認・実在証明」の新しい仕組み	20	その他	-	-	-
5	富士通Japan株式会社	5010001006767	人材育成のためのTrustedな学修情報流通システム開発実証	20	その他	-	-	-
6	株式会社DataSign	5011001112794	オンラインマーケティングにおけるパーソナルデータの流通の開発実証	19.9	その他	-	-	-
7	東芝テック株式会社	8010701016022	ワークプレイスの信頼できる電子化文書の流通システム開発実証	19.7	その他	-	-	-
8	シミック株式会社	3010701026059	臨床試験及び医療現場における信頼性及び応用可能性の高い情報流通システム開発実証	15.6	その他	-	-	-
9	NRIデジタル株式会社	3010001177445	仮想現実空間におけるサービス利用資格と提供データのTrust検証の開発実証	11.5	その他	-	-	-
10	国立大学法人東京大学	5010005007398	学修歴等の本人管理による人材流動の促進開発実証	11.5	その他	-	-	-

C

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	CollaboGate Japan株式会社	6011001127965	文書管理システムのプロトタイプ開発	12.3	その他			
2	BlockBase株式会社	6010001194875	分散台帳をベースとしてID基盤ソリューションの提供(設計・開発)	9.6	その他			
3	株式会社電通国際情報サービス	7010401053829	プロトタイプシステムの開発支援	8.8	その他			
4	DataGateway PTE LTD	-	アプリケーション開発やブロックチェーンを活用したデータ保存等の開発	7.8	その他			
5	富士通株式会社	1020001071491	実証サービス環境の提供	7.8	その他			
6	伊藤忠テクノソリューションズ株式会社	2010001010788	分散台帳をベースとしてID基盤ソリューションの提供(設計・開発)	6.5	その他			
7	富士ソフト株式会社	2020001043507	FIDO Notaryの開発	5.5	その他			
8	cycaltrust株式会社	7010401152721	ブロックチェーンを利用したデータ流通基盤技術の検討支援	5	その他			
9	KDDI株式会社	9011101031552	仮想現実空間の準備やIssuer実装	3	その他			
10	株式会社funlab	4010701036032	デジタルウォレット等のシステム開発	1.7	その他			
支出先上位10者リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載							チェック	